

事業計画書

令和4年度
自令和4年4月 1日
至令和5年3月 31日

一般財団法人ブルーオーシャンファンデーション

大阪府大阪市中央区備後町四丁目2番3号
サラヤ本町東ビル

海の豊かさを守る活動に関する事業

1. **海を守る研究開発事業**(技術開発、研究開発および講座、セミナー、育成)
 - ① 海洋汚染の解決のため大阪大学と海中生分解プラスチック等新素材の協同開発研究を実施。

海洋汚染の解決のため大阪大学及び一般社団法人生産技術振興協会と海中生分解プラスチック等新素材の協同開発研究を実施し、必要に応じて年2回から3回のセミナーイベントを行う。

具体的には、大阪大学大学院工学研究科教授 宇山浩氏を招へいし、陸上プラスチック廃棄物の削減、回収、リサイクル、リユーズへのイノベーションや社会システムの研究・開発を一般社団法人生産技術振興協会の協力を得て行う。また、普及の為のイベント等の開催も協働して行う。
 - ② 環境保全と経済性の両立のためのプラスチック製品の減量化及び3R(リデュース・リユース・リサイクル)の研究・開発及び技術の普及を行う。
2. **未来に向けての教育事業**(講座、セミナー、育成)
 - ① 未来の世代に向けた環境教育の啓発事業として、海の豊かさを社会一般や未来の世代に向けて啓発・教育するための研究と実践活動を行う。

具体的には大阪湾海洋ごみの回収の活動やポリマ号の活動等を大阪府下の小学生・中学生・高校生を対象に紹介し、一緒に問題解決のための活動を行う。
 - ② 大阪府下の小学生・中学生・高校生を対象に大阪府立大学人間社会システム科学研究科准教授千葉知世氏の協力のもと環境政策・環境教育の啓発セミナーを教育委員会等と連携をとりながら広く一般に参加募集を行い開催する。
3. **環境体験事業**(展示会、〇〇ショー)
 - ① 2019年6月開催のG20大阪サミットで宣言された『大阪ブルー・オーシャン・ビジョン』の達成に向けZERI(Zero Emissions Research and Initiatives)ジャパンが2025年大阪・関西万博にて「ブルーオーシャンパビリオン」を出展することに協力する。
 - ② パビリオンと共にブルーオーシャンの実現をめざす為、イノベーションに溢れた船舶「ポリマ号」を広報していく。
4. **ネットワークの構築**(その他および助成金)
 - ① 海の豊かさを実現するための有益な情報をホームページ・パンフレット作成

やプロモーションビデオの制作により発信する。

- ② 具体的には 2022 年 4 月より大阪の地域で活動している海洋環境の保全団体と情報交換を行い各団体のプラットフォーム的な役割を担えるよう常時情報発信していく。第一歩として海洋プラスチックごみ問題に取り組んでいる大阪府立大学准教授 千葉氏などが実施している大阪湾海洋ごみの回収を行う団体とのネットワークを構築する。
- ③ ネットワーク構築の一助として、資金助成を行う。海洋プラスチックごみ問題に取り組む団体等を対象に、ホームページで公募し、選考委員会により決定。助成金額は 1 団体 1 回 30 万円とし、対象期間の収支について報告を受ける。助成対象者はホームページにて公表する。